

新	旧	備 考
<p>第39類 プラスチック及びその製品</p> <p>(省 略)</p> <p><u>号注</u></p> <p>1 (省 略)</p> <p>2 第3920.43号において「可塑剤」には、<u>二次可塑剤を含む。</u></p> <p>重合体</p> <p>総説 (省 略)</p> <p>(1) (省 略)</p> <p>(2) <u>転位重合</u>：これは、酸素、窒素又は硫黄のような原子を含む官能基を有する分子が分子内の<u>転位</u>及び付加によって、水その他の副産物を生成することなく互いに反応し、エーテル結合、アミド結合、ウレタン結合その他の結合によって単量体単位が結合し、重合鎖を形成するものである（例えば ホルムアルデヒドから<u>ポリ(オキシメチレン)</u>（<u>ポリホルムアルデヒド</u>）の生成、カプロラクタムから<u>ポリアミド-6</u>の生成及び<u>ポリオール</u>及び<u>ジイソシアネート</u>から<u>ポリウレタン</u>の生成）。この型の重合は重付加とも称する。</p> <p>(3) <u>縮合重合</u>：これは、酸素、窒素又は硫黄のような原子を含む官能基を有する分子が縮合反応によって互いに反応し、水その他の副産物の生成を伴ないエーテル結合、エステル結合、アミド結合その他の結合によって単量体単位が結合して重合鎖を形成するものである（例えば、<u>エチレングリコール</u>と<u>テレフタル酸</u>から<u>ポリ(エチレンテレファレート)</u>の生成及び<u>ヘキサメチレンジアミン</u>と<u>アジピン酸</u>から<u>ポリアミド-6、6</u>生成）。この型の重合は縮合又は重縮合と称する。</p> <p>重合体は、例えば、<u>ポリエチレン</u>又は<u>ポリ(塩化ビニル)</u>の塩素化、<u>ポリエチレン</u>のクロロスルホン化、セルロースのアセチル化又は二トロ化及び<u>ポリ(酢酸ビニル)</u>の加水分解のように化学的に変性させることもある。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>第39類 プラスチック及びその製品</p> <p>(省 略)</p> <p><u>号注</u></p> <p>1 (省 略)</p> <p>(新 設)</p> <p>重合体</p> <p>総説 (省 略)</p> <p>(1) (省 略)</p> <p>(2) <u>再配列重合</u>：これは、酸素、窒素又は硫黄のような原子を含む官能基を有する分子間の<u>再配列</u>及び付加によって、水その他の副産物を生成することなく互いに反応し、エーテル結合、アミド結合、ウレタン結合その他の結合によって単量体単位が結合し、重合鎖を形成するものである（例えば、<u>ホルムアルデヒド</u>から<u>ポリメチレンオキシド</u>の生成、<u>カプロラクタム</u>から<u>ポリアミド-6</u>の生成及び<u>ポリオール</u>及び<u>ジイソシアネート</u>から<u>ポリウレタン</u>の生成）。この型の重合は重付加とも称する。</p> <p>(3) <u>縮合重合</u>：これは、酸素、窒素又は硫黄のような原子を含む官能基を有する分子が縮合反応によって互いに反応し、水その他の副産物の生成を伴ないエーテル結合、エステル結合、アミド結合その他の結合によって単量体単位が結合して重合鎖を形成するものである（例えば、<u>エチレングリコール</u>と<u>テレフタル酸</u>から<u>ポリエチレンテレファレート</u>の生成及び<u>ヘキサメチレンジアミン</u>と<u>アジピン酸</u>から<u>ポリアミド-6、6</u>生成）。この型の重合は縮合又は重縮合と称する。</p> <p>重合体は、例えば、<u>ポリエチレン</u>又は<u>ポリ塩化ビニル</u>の塩素化、<u>ポリエチレン</u>のクロロスルホン化、セルロースのアセチル化又は二トロ化及び<u>ポリ酢酸ビニル</u>の加水分解のように化学的に変性させることもある。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>重合体の略号</p> <p>(省 略)</p> <p>P B T <u>ポリ(ブチレンテレフタレート)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P E O X <u>ポリ(エチレンオキシド)(ポリオキシエチレン)</u></p> <p>P E T <u>ポリ(エチレンテレフタレート)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P M M A <u>ポリ(メタクリル酸メチル)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P P O <u>ポリ(フェニレンオキシド)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P P S <u>ポリ(フェニレンスルフィド)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P V A C <u>ポリ(酢酸ビニル)</u></p> <p>P V A L <u>ポリ(ビニルアルコール)</u></p> <p>P V B <u>ポリ(ビニルブチラール)</u></p> <p>P V C <u>ポリ(塩化ビニル)</u></p> <p>P V D F <u>ポリ(ふつ化ビニリデン)</u></p> <p>P V P <u>ポリ(ビニルピロリドン)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>重合体は、商業上それらの略名によつて表現される以上の<u>単量体ユニット</u>を含んでゐる場合があることに注意すべきである（例えば、直鎖の低密度ポリエチレン（L L D P E）は、本質的にエチレンの重合体であるが、少量（しばしば5%以上）のアルファー-オレфин<u>単量体ユニット</u>を含むことがある。）。さらに、重合体中の<u>単量体ユニット</u>の相対的な量は略名によつて表現されている順序と同一であるとは限らない（例えば、スチレンを最大重量の<u>単量体ユニット</u>として含んでいるアクリロニトリル-ブタジエン-スチレン（A B S）共重合体）。</p> <p>それゆえ、重合体の略名は、分類を行う場合の参考としてのみ使用すべきである。分類は、すべての場合、類注及び号の注を適用し、重合体中の<u>単量体ユニット</u>の相対的な構成割合をもととして行わなければならない（この類の注4及び号注1参照）。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>重合体の略号</p> <p>(省 略)</p> <p>P B T <u>ポリブチレンテレフタレート</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P E O X <u>ポリエチレンオキシド(ポリオキシエチレン)</u></p> <p>P E T <u>ポリエチレンテレフタレート</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P M M A <u>ポリメタクリル酸メチル</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P P O <u>ポリフェニレンオキシド</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P P S <u>ポリフェニレンスルフィド</u></p> <p>(省 略)</p> <p>P V A C <u>ポリ酢酸ビニル</u></p> <p>P V A L <u>ポリビニルアルコール</u></p> <p>P V B <u>ポリビニルブチラール</u></p> <p>P V C <u>ポリ塩化ビニル</u></p> <p>P V D F <u>ポリビニリデンフルオリド</u></p> <p>P V P <u>ポリビニルピロリドン</u></p> <p>(省 略)</p> <p>重合体は、商業上それらの略名によつて表現される以上の<u>モノマーコニット</u>を含んでゐる場合があることに注意すべきである（例えば、直鎖の低密度ポリエチレン（L L D P E）は、本質的にエチレンの重合体であるが、少量（しばしば5%以上）のアルファー-オレфин<u>モノマーコニット</u>を含むことがある。）。さらに、重合体中の<u>モノマーコニット</u>の相対的な量は略名によつて表現されている順序と同一であるとは限らない（例えば、スチレンを最大重量の<u>モノマーコニット</u>として含んでいるアクリロニトリル-ブタジエン-スチレン（A B S）共重合体）。</p> <p>それゆえ、重合体の略名は、分類を行う場合の参考としてのみ使用すべきである。分類は、すべての場合、類注及び号の注を適用し、重合体中の<u>モノマーコニット</u>の相対的な構成割合をもととして行わなければならない（この類の注4及び号注1参照）。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より) プラスチック (省 略) 「重合」とは、この定義において広義に使用しており、重合体を形成するすべての方法をいうものとし、付加重合、<u>転位重合</u>（重付加）及び縮合重合（重縮合）を含む。 (省 略) プラスチックはほとんど無制限に利用されているが、プラスチックから作られた多くの製品は<u>他の類に属する</u>（この類の注2参照）。 (省 略)</p> <p>39.01 項から39.11 項までの範囲 (省 略) (a) , (b) (省 略) (c) 平均5以上の<u>単量体ユニット</u>よりなり、連続構造を持つその他の合成ポリマー：これらの中には、この類の注1で定めるプラスチックを含む。</p> <p>類注3(c)における単量体ユニットの平均数の計算において、縮重合体及びある種の<u>転位重合体</u>は、各々が異なる化学組成を有する、2以上の<u>単量体ユニット</u>を有することがある。単量体ユニットは、重合過程において個々の単量体分子から形成される最大の構成單位であるが、重合体を構成する繰り返しの最小単位である繰り返し単位又は重合体を形成する一分子の単量体という語と混同してはならない。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より) プラスチック (省 略) 「重合」とは、この定義において広義に使用しており、重合体を形成するすべての方法をいうものとし、付加重合、<u>再配列重合</u>（重付加）及び縮合重合（重縮合）を含む。 (省 略) プラスチックはほとんど無制限に利用されているが、プラスチックから作られた多くの製品は<u>種々の項に属する</u>（この類の注2参照）。 (省 略)</p> <p>39.01 項から39.11 項までの範囲 (省 略) (a) , (b) (省 略) (c) 平均5以上の<u>単量体</u>よりなり、連続構造を持つその他の合成ポリマー：これらのものは、この類の注1で定めるプラスチックを含む。</p> <p>類注3(c)における単量体ユニットの平均数の計算において、縮重合体及びある種の<u>再配列重合体</u>は、各々が異なる化学組成を有する、2以上の<u>単量体ユニット</u>を有することがある。単量体単位は重合過程において单一のモノマー分子による最も大きな構成要素であるが、重合体の組成上の繰り返し単位と混同するべきではない。当該繰り返し単位は、繰り返しにより重合体を特徴付ける最小の重合体構成単位であるが、重合体を形成し得る单一の分子としての概念であるモノマーと混同してはならない。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備考
<p>(前葉より)</p> <p>例示：</p> <p>(a) ポリ塩化ビニル 次の重合鎖は3つの単量体ユニットを表す。</p> <p>- CH₂ - C H C I - CH₂ - C H C I - CH₂ - C H C I -</p> <p>1 2 3</p> <p><u>単量体</u> 塩化ビニル (CH₂=C H C I)</p> <p><u>単量体ユニット</u></p> <p><u>組成上の繰返し単位</u></p> <p>(この場合、単量体ユニット及び組成上の繰返し単位は同一)</p> <p>(b) ポリアミド - 6 , 6 次の重合鎖は4つの単量体ユニットを表わす。</p> <p>- NH - (CH₂)₆ - NH - C - (CH₂)₄ - C - NH - (CH₂)₆ - NH - C - (CH₂)₄ - C -</p> <p>1 2 3 4</p> <p><u>単量体</u> ヘキサメチレンジアミン 及び</p> <p><u>単量体ユニット</u></p> <p><u>組成上の繰返し単位</u></p> <p>アジピン酸</p> <p>O O O O</p> <p>(この場合、2つの異なる単量体ユニットが存在し、組成上の繰返し単位は各々1の単量体ユニットから構成されている。)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>例示：</p> <p>(a) ポリ塩化ビニル 次の重合鎖は3つの単量体単位を表す。</p> <p>- CH₂ - C H C I - CH₂ - C H C I - CH₂ - C H C I -</p> <p>1 2 3</p> <p><u>モノマー</u> 塩化ビニル (CH₂=C H C I)</p> <p><u>単量体単位</u></p> <p><u>組成上の繰返し単位</u></p> <p>(この場合、単量体単位及び組成上の繰返し単位は同一)</p> <p>(b) ポリアミド - 6 , 6 次の重合鎖は4つの単量体単位を表わす。</p> <p>- NH - (CH₂)₆ - NH - C - (CH₂)₄ - C - NH - (CH₂)₆ - NH - C - (CH₂)₄ - C -</p> <p>1 2 3 4</p> <p><u>モノマー</u> ヘキサメチレンジアミン 及び</p> <p><u>単量体単位</u></p> <p><u>組成上の繰返し単位</u></p> <p>アジピン酸</p> <p>O O O O</p> <p>(この場合、2つの異なる単量体単位が存在し、組成上の繰返し単位は各々1の単量体単位から構成されている。)</p>	<p>(次葉へ)</p>

新	旧	備考
<p>(前葉より)</p> <p>(c) エチレン - 酢酸ビニル共重合体</p> <p style="text-align: center;">(A_cは CH₃ - C - を表わす。)</p> <p><u>単量体</u> <u>単量体ユニット</u></p> <p>エチレン (CH₂=CH₂) -CH₂-CH₂- 及び 及び</p> <p>酢酸ビニル (CH₂=CH-OA_c) -CH₂-CH-OA_c</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p>(d) シリコーン：分子内に<u>二以上</u>のけい素 - 酸素 - けい素結合を含み、かつ、けい素原子に直 接けい素 - 炭素の形で結合している有機の基を含む化学的に单一でない生成物である (39.10)。</p> <p>(e) レゾール(39.09)その他のプレポリマー：プレポリマーは、未反応の単量体を含んでい る場合もあるが、<u>単量体ユニット</u>のある程度の繰返しにより特徴付けられるものであり、通 常そのままでは使用されず、更に重合することによって、より分子量の大きい重合体にして 使用するものである。したがつて、プレポリマーには、ジイソブチレン(27.10)又は非常に低 分子量のポリ(オキシエチレン)(ポリエチレングリコール)(38.24)のような最 終物品を含まない。プレポリマーには、例えば、ビスフェノールAやフェノールホルムアル デヒドをもととし、エピクロロヒドリンによりエポキシ化したエポキシド及びイソシアヌ 化物の重合体がある。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>(c) エチレン - 酢酸ビニル共重合体</p> <p style="text-align: center;">(A_cは CH₃ - C - を表わす。)</p> <p><u>モノマー</u> <u>単量体単位</u></p> <p>エチレン (CH₂=CH₂) -CH₂-CH₂- 及び 及び</p> <p>酢酸ビニル (CH₂=CH-OA_c) -CH₂-CH-OA_c</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p>(d) シリコーン：分子内に<u>一以上</u>のけい素 - 酸素 - けい素結合を含み、かつ、けい素原子に直 接けい素 - 炭素の形で結合している有機の基を含む化学的に单一でない生成物である (39.10)。</p> <p>(e) レゾール(39.09)その他のプレポリマー：プレポリマーは、未反応の単量体を含んでい る場合もあるが、<u>単量体単位</u>のある程度の繰返しにより特徴付けられるものであり、通常そ のままでは使用されず、更に重合することによって、より分子量の大きい重合体にして使用 するものである。したがつて、プレポリマーには、ジイソブチレン(27.10)又は非常に低 分子量の混合ポリエチレングリコール(38.24)のような最終物品を含まない。プレポリマ ーには、例えば、ビスフェノールAやフェノールホルムアルデヒドをもととし、エピクロル ヒドリンによりエポキシ化したエポキシド及びイソシアヌ化物の重合体がある。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>一次製品 (前葉より) (省 略) (1) 液状又はペースト状のもの。 (省 略) (省 略) 溶媒を含まない液状の重合体で、ワニスとしてのみ使用することが明らかに認められる物品(硬化剤を添加することなく、熱、大気中の湿度又は酸素によって被膜を形成するもの)は、32.10 項に属する。ワニスとして使用することが明らかに認められないものは、この類に含まれる。 (2), (3) (省 略) 共重合体及びポリマーブレンド (省 略) つまり、例えば、プロピレンの単量体ユニット96%及び他のオレフィン系単量体ユニット4%から構成される重合体は共重合体としては扱わない。 <u>共重合体には、共縮重合物、共重付加物、ブロック共重合体及びグラフト共重合体を含む。</u> <u>ブロック共重合体とは、異なる単量体ユニットから成る少なくとも二種類の重合鎖が、結合した共重合体をいう（例えば、エチレンとプロピレンから成る共重合体で、ポリエチレンとポリプロピエンの部分を交互に有するもの）。</u> <u>グラフト共重合体とは、主鎖となる重合鎖に、異なる単量体ユニットから成る側鎖が結合している共重合体をいう（例えば、スチレン-ブタジエン共重合体-グラフト-ポリスチレン（スチレン-ブタジエン共重合にポリスチレンが側鎖として結合したもの）及びポリブタジエン-グラフト-スチレン-アクリロニトリル共重合体）。</u> (省 略) 同様に、エチレン45%、プロピレン35%及びイソブチレン20%の<u>単量体ユニット</u>から成る共重合体は、プロピレン及びイソブチレンの各々の重合体が第39.02 項に属するので、これらを合計すると共重合体の55%を構成しており、エチレンの単量体ユニットより大きい重量を占めるので、第39.02 項に属する。トルエンジイソシアネートとポリエーテルポリオールをもととしたポリウレタン55%とポリ(オキシキシリレン)45%から構成されるポリマーブレンドは、ポリウレタンの単量体ユニットがポリ(オキシキシリレン)によるポリエーテルの重量より大きい重量を占めるので第39.09 項に属する。ポリウレタンを定義するにあたつてはポリウレタンの単量体ユニットの全て(ポリウレタンの一部分を形成するポリエーテルポリオールの単量体ユニットを含む。)を第39.09 項に属する単量体ユニットとしてその重量を合計する。 (次葉へ)</p>	<p>一次製品 (前葉より) (省 略) (1) 液状又はペースト状のもの。 (省 略) (省 略) 溶媒を含まない液状の重合体で、ワニスとしてのみ使用することが明らかに認められるものは、32.10 項に属する。ワニスとして使用することが明らかに認められないものは、この類に含まれる。 (2), (3) (省 略) 共重合体及びポリマーブレンド (省 略) つまり、例えば、プロピレンの単量体ユニット96%及び他のオレフィン系単量体ユニット4%から構成される重合体は共重合体としては扱わない。 <u>共重合体には、共縮重合物、共重付加物、ブロック共重合体及びグラフト共重合体を含む。</u> <u>ブロック共重合体とは、異なる単量体ユニットから成る少なくとも二種類の重合鎖が、結合した共重合体をいう（例えば、エチレンとプロピレンから成る共重合体で、ポリエチレンとポリプロピエンの部分を交互に有するもの）。</u> <u>グラフト共重合体とは、主鎖となる重合鎖に、異なる単量体ユニットから成る側鎖が結合している共重合体をいう（例えば、スチレン-ブタジエン共重合体-グラフト-ポリスチレン（スチレン-ブタジエン共重合にポリスチレンが側鎖として結合したもの）及びポリブタジエン-グラフト-スチレン-アクリロニトリル共重合体）。</u> (省 略) 同様に、エチレン45%、プロピレン35%及びイソブチレン20%の<u>単量体</u>から成る共重合体は、プロピレン及びイソブチレンの各々の重合体が第39.02 項に属するので、これらを合計すると共重合体の55%を構成しており、エチレンの単量体ユニットより大きい重量を占めるので、第39.02 項に属する。トルエンジイソシアネートとポリエーテルポリオールをもととしたポリウレタン55%とポリ(オキシキシリレン)45%から構成されるポリマーブレンドは、ポリウレタンの単量体ユニットがポリ(オキシキシリレン)によるポリエーテルの重量より大きい重量を占めるので第39.09 項に属する。ポリウレタンを定義するにあたつてはポリウレタンの単量体ユニットの全て(ポリウレタンの一部分を形成するポリエーテルポリオールの単量体ユニットを含む。)を第39.09 項に属する単量体ユニットとしてその重量を合計する。</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より) 化学的に変性させた重合体 (省 略) <u>ポリマーブレンドにおいてそのいずれかの構成成分を化学的に変性させたものは、全体が化学的に変性されたとみなす。</u> (省 略)</p> <p>プラスチックと紡織用纖維との結合物品 (省 略) (a)~(c) (d) 紡織用纖維の織物類、フェルト又は不織布と多泡性のプラスチックの板、シート又はストリップとを結合したもので、紡織用纖維が単に補強の目的で使われている物品 この場合において、<u>模様</u>を有しないもの、漂白してないもの、漂白したもの又は均一に浸染した紡織用纖維の織物類をこれらの板、シート又はストリップの片側のみに結合した場合は、単に補強の目的で使用したものとみなす。<u>模様</u>を有するもの、なせんしたもの、これら以上の精巧な加工をした織物類（例えば、起毛）及びパイル織物、チュール、レース、58.11 項の織物製品などの特殊な物品は、単なる補強以上の機能を有するものとみなす。 (省 略) (次葉へ)</p>	<p>(前葉より) 化学的に変性させた重合体 (省 略) <u>化学的に変性した重合体から形成されるポリマーブレンドで</u>いすれかの構成成分を化学的に変性させたものは、全体が化学的に変性されたとみなす。 (省 略)</p> <p>プラスチックと紡織用纖維との結合物品 (省 略) (a)~(c) (d) 紡織用纖維の織物類、フェルト又は不織布と多泡性のプラスチックの板、シート又はストリップとを結合したもので、紡織用纖維が単に補強の目的で使われている物品 この場合において、<u>模様編みの組織</u>を有しないもの、漂白してないもの、漂白したもの又は均一に浸染した紡織用纖維の織物類をこれらの板、シート又はストリップの片側のみに結合した場合は、単に補強の目的で使用したものとみなす。<u>模様編みの組織</u>を有するもの、なせんしたもの、これら以上の精巧な加工をした織物類（例えば、起毛）及びパイル織物、チュール、レース、58.11 項の織物製品などの特殊な物品は、単なる補強以上の機能を有するものとみなす。 (省 略) (次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>号の解説 号注1 (省略) 重合体(共重合体を含む。)及び化学的に変性した重合体の分類 (省略)</p> <p>(A) 一連の号注に「その他のもの」を定める号が存在する場合の分類</p> <p>(1) 号注1(a)(1)では接頭語「ポリ」が付された重合体(例えば、ポリエチレン及びポリアミド-6、6)は、重合体を構成する一の単量体ユニット又は当該重合体の名称が由来する二以上の単量体ユニットが重合体の全重量の95%以上を占めるものと定義されている。ある種の単量体ユニットの総称に接頭語「ポリ」が付された重合体(例えば、第3911.10号のポリテルペン)の分類の場合では、その種類に属する全ての単量体ユニット(例えば、ポリテルペンの場合は異なるテルペン<u>単量体ユニット</u>)が重合体の重量の95%以上含まれていなければならぬ。</p> <p>(省略) 従つて、例えば、エチレン<u>単量体ユニット</u>96%とプロピレン<u>単量体ユニット</u>4%から構成され比重が0.94以上(この類の注4を適用し39.01項の重合体となる)のものは、エチレンが重合体の全重量に対して95%以上を占め、一連の号中に「その他のもの」を定める号が存在するので、第3901.20号に分類する。</p> <p>接頭語「ポリ」が付された重合体の上記の定義を、<u>ポリ(ビニルアルコール)</u>に適用する時には、「ビニルアルコール」と命名される単量体ユニットの重量が95%を満たさなくともよい。しかし、酢酸ビニル及びビニルアルコールのそれぞれの単量体ユニットを合計して重合体の重量の95%以上存在することが必要である。</p> <p>(2) (省略)</p> <p>(3) 号注1(a)(3)の規定は化学的に変性させた重合体に関するものである。これらの重合体は、化学的に変性させた重合体がより特殊な限定をした号に含まれない限り、「その他のもの」を定める号に分類される。この注の結果、化学的に変性させた重合体は、化学的に変性させてない重合体自身が「その他のもの」を定める号に属さない限り、変性させてない重合体と同じ号に分類されない。</p> <p>(省略) 一方、<u>ポリ(酢酸ビニル)</u>を加水分解して得られる<u>ポリ(ビニルアルコール)</u>は、より特殊な限定をしている3905.30号に分類する。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>号の解説 号注1 (省略) 重合体(共重合体を含む。)及び化学的に変性した重合体の分類 (省略)</p> <p>(A) 一連の号注に「その他のもの」を定める号が存在する場合の分類</p> <p>(1) 号注1(a)(1)では接頭語「ポリ」が付された重合体(例えば、ポリエチレン及びポリアミド-6、6)は、重合体を構成する一の単量体ユニット又は当該重合体の名称が由来する二以上の単量体ユニットが重合体の全重量の95%以上を占めるものと定義されている。ある種の単量体ユニットの総称に接頭語「ポリ」が付された重合体(例えば、第3911.10号のポリテルペン)の分類の場合では、その種類に属する全ての単量体ユニット(例えば、ポリテルペンの場合は異なるテルペン<u>モノマー</u>)が重合体の重量の95%以上含まれていなければならぬ。</p> <p>(省略) 従つて、例えば、エチレン<u>モノマー</u>ユニット96%とプロピレン<u>モノマー</u>ユニット4%から構成され比重が0.94以上(この類の注4を適用し39.01項の重合体となる)のものは、エチレンが重合体の全重量に対して95%以上を占め、一連の号中に「その他のもの」を定める号が存在するので、第3901.20号に分類する。</p> <p>接頭語「ポリ」が付された重合体の上記の定義を、<u>ポリビニルアルコール</u>に適用する時には、「ビニルアルコール」と命名される単量体ユニットの重量が95%を満たさなくともよい。しかし、酢酸ビニル及びビニルアルコールのそれぞれの単量体ユニットを合計して重合体の重量の95%以上存在することが必要である。</p> <p>(2) (省略)</p> <p>(3) 号注1(a)(3)の規定は化学的に変性させた重合体に関するものである。これらの重合体は、化学的に変性させた重合体がより特殊な限定をした号に含まれない限り、「その他のもの」を定める号に分類される。この注の結果、化学的に変性させた重合体は、化学的に変性させてない重合体自身が「その他のもの」を定める号に属さない限り、変性させてない重合体と同じ号に分類されない。</p> <p>(省略) 一方、<u>ポリ酢酸ビニル</u>を加水分解して得られる<u>ポリビニルアルコール</u>は、より特殊な限定をしている3905.30号に分類する。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(4) (前葉より) (省 略)</p> <p>この場合において、同じ号に属する重合体を構成する単量体ユニットは、<u>重量を合計する</u>。考慮する一連の号中に属する重合体を構成する単量体ユニットのみを比較する。</p> <p>そのような特定の号は、「Xの重合体」、「X共重合体」又は「X - 重合体」と規定されている。(例えば、プロピレンの共重合体(3902.30号)、ふつ素系重合体(3904.61号、3904.69号))</p> <p>(省 略)</p> <p>(B) 一連の号注に「その他のもの」を定める号がない場合の分類</p> <p>(1) 号注1(b)(1)は、一連の号注に「その他のもの」を定める号がない場合には、当該重合体を構成するいずれのモノマーユニットをも重量を上回る単量体ユニットの重合体が属する号に重合体を分類することを示している。この場合において、同じ号に属する<u>重合体</u>を構成する単量体ユニットは、<u>その重量を合計する</u>。</p> <p>これは、この類の注4で<u>重合体</u>の項のレベルでの分類に対して示した分類方法と同様である。</p> <p>(省 略)</p> <p>従って、例えば、ポリカーボネートと<u>ポリ(エチレンテレフタレート)</u>の両者の単量体ユニットから構成される重合体は、一連の号に「その他のもの」を定める号がないので、ポリカーボネートが多いときは3907.40号に、<u>ポリ(エチレンテレフタレート)</u>が多いときは3907.60号に分類される。</p> <p>(2) (省 略) (次葉へ)</p>	<p>(4) (前葉より) (省 略)</p> <p>この場合において、同じ号に属する重合体を構成する単量体ユニットは、<u>同一のものとみなす</u>。考慮する一連の号中に属する重合体を構成する単量体ユニットのみを比較する。</p> <p>そのような特定の号は、「Xの重合体」、「X共重合体」又は「X - 重合体」と規定されている。(例えば、プロピレンの共重合体(3902.30号)、ふつ素系重合体(3904.61号、3904.69号))</p> <p>(省 略)</p> <p>(B) 一連の号注に「その他のもの」を定める号がない場合の分類</p> <p>(1) 号注1(b)(1)は、一連の号注に「<u>その他のもの</u>」は当該重合体を構成するいずれのモノマーユニットをも重量を上回る単量体ユニットの重合体が属する号に重合体を分類することを示している。この場合において、同じ号に属する<u>ポリマー</u>を構成する単量体ユニットは<u>同じものとみなす</u>。</p> <p>これは、この類の注4で<u>ポリマー</u>の項のレベルでの分類に対して示した分類方法と同様である。</p> <p>(省 略)</p> <p>従って、例えば、ポリカーボネートと<u>ポリエチレンテレフタレート</u>の両者の単量体ユニットから構成される重合体は、一連の号に「その他のもの」を定める号がないので、ポリカーボネートが多いときは3907.40号に、<u>ポリエチレンテレフタレート</u>が多いときは3907.60号に分類される。</p> <p>(2) (省 略) (次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>ポリマーブレンドの分類 号注1の最後のパラグラフはポリマーブレンドの分類を示している。これらは、同一比率の同一単量体ユニットから構成される重合体が属する項に属する。 次の例はポリマーブレンドの分類を説明している。</p> <p>(省 略)</p> <p>ポリプロピレン45%、<u>ポリ(ブチレンテレフタレート)42%</u>及び<u>ポリ(エチレンイソフタレート)13%</u>から構成されるポリマーブレンドは、2種類のポリエステルを構成する単量体ユニットを合計すると、プロピレンの単量体より重量が多いので、第37.07項に分類する。<u>ポリ(ブチレンテレフタレート)</u>及び<u>ポリ(エチレンイソフタレート)</u>の単量体ユニットがポリマーブレンド中の個々の重合体中においてどのように結合しているかは考慮しない。この例において、<u>ポリ(エチレンイソフタレート)</u>の一つの単量体ユニットと、<u>ポリ(ブチレンテレフタレート)</u>のもう一つの単量体ユニットは、<u>ポリ(エチレンテレフタレート)</u>を構成する単量体ユニットと同一である。しかし、ポリエステル単量体ユニットを考える限り、正確な化学量論的な割合において「他のポリエステル」を構成する単量体ユニットが、<u>ポリ(エチレンテレフタレート)</u>の単量体ユニットよりも多くを占めることから、このポリマーブレンドは3907.99号に分類される。</p>	<p>(前葉より)</p> <p>ポリマーブレンドの分類 号注1の最後のパラグラフはポリマーブレンドの分類を示している。これらは、同一比率の同一単量体ユニットから構成される重合体として、同じ号に分類される。 次の例はポリマーブレンドの分類を説明している。</p> <p>(省 略)</p> <p>ポリプロピレン45%、<u>ポリブチレンテレフタレート42%</u>及び<u>ポリエチレンイソフタレート</u>から構成されるポリマーブレンドは、2種類のポリエステルを構成する単量体ユニットを合計すると、プロピレンの単量体より重量が多いので、第37.07項に分類する。<u>ポリブチレンテレフタレート</u>及び<u>ポリエチレンイソフタレート</u>の重合体ユニットがブレンド中の個々の重合体中においてどのように結合しているかは考慮しない。この例において、<u>ポリエチレンテレフタレート</u>の一つの単量体ユニットと、<u>ポリブチレンテレフタレート</u>のもう一つの単量体ユニットは、<u>ポリエチレンテレフタレート</u>を構成する単量体ユニットと同一である。しかし、ポリエステル単量体ユニットを考える限り、正確な化学量論的な割合において「他のポリエステル」を構成する単量体ユニットが、<u>正確な化学量論的な割合</u>において、<u>ポリエチレンテレフタレート</u>の単量体ユニットよりも多くを占めることから、このブレンドは3907.99号に分類される。</p>	

	新	旧	備 考
39.03	<p>スチレンの重合体（一次製品に限る。） (省 略)</p> <p>この項には、ポリスチレン及びスチレンの共重合体を含む。最も重要なスチレンの共重合体は、スチレン - アクリロニトリル (S A N) 共重合体、アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン (A B S) 共重合体及びスチレン - ブタジエン共重合体である。ブタジエンを主体とする大部分のスチレン - ブタジエン共重合体は40類の注4の規定に該当するもので、合成ゴムとして40類に属する。重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてはこの類の総説を参照すること。 (省 略)</p>	<p>39.03</p> <p>スチレンの重合体（一次製品に限る。） (省 略)</p> <p>この項には、ポリスチレン及びスチレンの共重合体を含む。最も重要なスチレンの共重合体は、スチレン - アクリロニトリル (S A N) 共重合体、アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン (A B S) 共重合体である。ブタジエンを主体とする大部分のスチレン - ブタジエン共重合体は40類の注4の規定に該当するもので、合成ゴムとして40類に属する。重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてはこの類の総説を参照すること。 (省 略)</p>	
39.04	<p>塩化ビニルその他のハロゲン化オレフィンの重合体（一次製品に限る。） 3904.10 - <u>ポリ(塩化ビニル)</u>（他の物質と混合しないものに限る。） - その他の<u>ポリ(塩化ビニル)</u> (省 略)</p> <p>この項には、<u>ポリ(塩化ビニル)</u> (P V C)、塩化ビニルの共重合体、塩化ビニリデンの重合体、ふつ素系重合体その他のハロゲン化オレフィンの重合体を含む（重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてはこの類の総説を参照）。</p> <p>P V Cは、限られた熱安定性及び加熱すると金属表面に付着する傾向を有する堅い、無色の物質である。このため及びその他の理由から、使い易いプラスチックにするためにしばしば安定剤、可塑剤、伸展剤、充てん料等を添加することが必要である。柔軟性のあるシート状のP V Cは、カーテン、エプロン、レインコート等の防水材料として、また室内装飾用品用の高級人工皮革及びあらゆる種類の旅客輸送機関の室内装飾に広く使用されている。堅いP V Cシートは化学プラント設備におけるカバー、導管、タンクの内張りその他多くの品目の製造に使用されている。P V C床タイルもよく知られている。 (省 略)</p> <p>その他のふつ素系重合体には、塩化三ふつ化エチレンの重合体、<u>ポリ(ふつ化ビニリデン)</u>等を含む。</p>	<p>39.04</p> <p>塩化ビニルその他のハロゲン化オレフィンの重合体（一次製品に限る。） 3904.10 - <u>ポリ塩化ビニル</u>（他の物質と混合しないものに限る。） - その他の<u>ポリ塩化ビニル</u> (省 略)</p> <p>この項には、<u>ポリ塩化ビニル</u> (P V C)、塩化ビニル共重合体、塩化ビニリデンの重合体、ふつ素系重合体その他のハロゲン化オレフィンの重合体を含む。（重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてはこの類の総説を参照）。</p> <p><u>ポリ塩化ビニル</u> (P V C)は、限られた熱安定性及び加熱すると金属表面に付着する傾向をもった堅い、無色の物質である。このため及びその他の理由から、使い易いプラスチックにするためにしばしば安定剤、可塑剤、伸展剤、充てん料等を添加することが必要である。柔軟性のあるシート状の<u>ポリ塩化ビニル</u> (P V C)は、カーテン、エプロン、レインコート等の防水材料として、また室内装飾用品用の高級人工皮革及びあらゆる種類の旅客輸送機関の室内装飾に広く使用されている。堅いP V Cシートは化学プラント設備におけるカバー、導管、タンクの内張りその他多くの品目の製造に使用されている。P V C床タイルもよく知られている。 (省 略)</p> <p>その他のふつ素系重合体には、塩化三ふつ化エチレンの重合体、<u>ポリふつ化ビニリデン</u>等を含む。</p>	

新	旧	備 考
<p>39.05 酢酸ビニルその他のビニルエステルの重合体及びその他のビニル重合体（一次製品に限る。） <u>- ポリ（酢酸ビニル）</u> (省 略) 3905.30 - ポリ（ビニルアルコール）(加水分解してないアセテート基を含有するかしないかを問わない。) (省 略)</p> <p>酢酸ビニルその他のビニルエステルの重合体では、<u>ポリ（酢酸ビニル）</u>が最も重要なものであるが、これは柔らかすぎて弾性があるため製品の製造には適さない。これらは一般にラッカー、塗料、接着剤、紡織用繊維の仕上げ剤及び浸せき剤等の調製のために使用する。<u>ポリ（酢酸ビニル）</u>の溶液及びディスパーション（乳化し又は懸濁しているもの）は、例えば、接着剤として使用する。</p> <p><u>ポリ（ビニルアルコール）</u>は、通常<u>ポリ（酢酸ビニル）</u>の加水分解によって得られる。<u>ポリ（ビニルアルコール）</u>は、加水分解してない酢酸ビニル基の含有量により多くの品質のものがある。これらはすぐれた乳化剤及び分散剤で、保護コロイド、接着剤、結合剤及びペイントの粘度付与剤、医療用品、化粧品及び紡織用繊維に使用する。<u>ポリ（ビニルアルコール）</u>から製造した繊維は、下着、毛布、衣服等の製造に適している。ポリビニルアセタールは、<u>ポリビニルアルコール</u>とホルムアルデヒド若しくはブチルアルデヒドのようなアルデヒドとの反応又は<u>ポリ（酢酸ビニル）</u>とアルデヒドとの反応によって得られる。</p> <p>その他のビニル重合体には、<u>ポリビニルエーテル</u>、<u>ポリ（ビニルカルバゾール）</u>及び<u>ポリ（ビニルピロリドン）</u>を含む。</p> (省 略)	<p>39.05 酢酸ビニルその他のビニルエステルの重合体及びその他のビニル重合体（一次製品に限る。） <u>- ポリ酢酸ビニル</u> (省 略) 3905.30 - ポリビニルアルコール（加水分解してないアセテート基を含有するかしないかを問わない。） (省 略)</p> <p>酢酸ビニルその他のビニルエステルの重合体では、<u>ポリ酢酸ビニル</u>が最も重要なものであるが、これは柔らかすぎて弾性があるため製品の製造には適さない。これらは一般にラッカー、塗料、接着剤、紡織用繊維の仕上げ剤及び浸せき剤等の調製のために使用する。<u>ポリビニルアルコール</u>の溶液及びディスパーション（乳化し又は懸濁しているもの）は、例えば、接着剤として使用する。</p> <p><u>ポリビニルアルコール</u>は、通常<u>ポリ酢酸ビニル</u>の加水分解によって得られる。<u>ポリビニルアルコール</u>は、加水分解してない酢酸ビニル基の含有量により多くの品質のものがある。これらはすぐれた乳化剤及び分散剤で、保護コロイド、接着剤、結合剤及びペイントの粘度付与剤、医療用品、化粧品及び紡織用繊維に使用する。<u>ポリビニルアルコール</u>から製造した繊維は、下着、毛布、衣服等の製造に適している。ポリビニルアセタールは、<u>ポリビニルアルコール</u>とホルムアルデヒド若しくはブチルアルデヒドのようなアルデヒドとの反応又は<u>ポリ酢酸ビニル</u>とアルデヒドとの反応によって得られる。</p> <p>その他のビニル重合体には、<u>ポリビニルエーテル</u>、<u>ポリビニルカルバゾール</u>及び<u>ポリビニルピロリドン</u>を含む。</p> (省 略)	
<p>39.06 アクリル重合体（一次製品に限る。） <u>3906.10 - ポリ（メタクリル酸メチル）</u> (省 略)</p> <p><u>ポリ（メタクリル酸メチル）</u>は、このカテゴリーのなかでは最も重要な重合体である。その優れた光学的特性及び物理的強度を有するため、光沢材料として、戸外の標識その他の表示用製品に、義眼、コンタクトレンズ又は人造義歯の製造に使用する。</p> (省 略)	<p>39.06 アクリル重合体（一次製品に限る。） <u>3906.10 - ポリメタクリル酸メチル</u> (省 略)</p> <p><u>ポリメタクリル酸メチル</u>は、このカテゴリーのなかでは最も重要な重合体である。その優れた光学的特性及び物理的強度を有するため、光沢材料として、戸外の標識その他の表示用製品に、義眼、コンタクトレンズ又は人造義歯の製造に使用する。</p> (省 略)	

新	旧	備 考
<p>39.07 ポリアセタールその他のポリエーテル、エポキシ樹脂及びポリカーボネート、アルキド樹脂、ポリアリルエステルその他のポリエステル(一次製品に限る。) (省略)</p> <p><u>3907.60 - ポリ(エチレンテレフタレート)</u> (省略)</p> <p>この項には、次の物品を含む。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) その他のポリエーテル：エポキシド、グリコールその他類似の物質から得た重合体で、重合鎖にエーテル官能基が存在することで特徴づけられる。これらは、エーテル官能基が重合鎖上の置換基となっている39.05 項のポリビニルエーテルと混同してはならない。このグループの中で最も重要なのは<u>ポリ(オキシエチレン)(ポリエチレンギリコール)</u>、ポリオキシプロピレン及びポリフェニレンオキシド(PPO) (より正確にはポリ(ジメチルフェニレン-オキシド)と呼ばれる。)である。これらの物品は、種々の用途があり、ポリフェニレンオキシドはポリアセタールと同様に工業用プラスチックとして使用され、ポリオキシプロピレンはポリウレタンフォームの中間体として使用する。</p> <p>(3), (4) (省略)</p> <p>(5) ポリエステル：これらポリマーの特徴は、重合鎖中にカルボキシエステル官能基が存在することであり、これらのポリマーは、例えば、多価アルコールとポリカルボン酸との縮合によつて得られる。したがつて、これらの重合体は、エステル基が重合鎖上の置換基である39.05 項のポリビニルエステル及び39.06 項のポリアクリル酸エステルとは区別される。ポリエステルには、次の物品を含む。</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) <u>ポリ(エチレンテレフタレート)(PET)</u>：通常テレフタル酸をエチレンギリコールでエステル化した重合体又はジメチルテレフタレートとエチレンギリコールとの反応によつて得た重合体である。紡織用纖維としての非常に重要な用途のほか、例えば、包装用フィルム、記録用テープ、清涼飲料用ボトルに使用する。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	<p>39.07 ポリアセタールその他のポリエーテル、エポキシ樹脂及びポリカーボネート、アルキド樹脂、ポリアリルエステルその他のポリエステル(一次製品に限る。) (省略)</p> <p><u>3907.60 - ポリエチレンテレフタレート</u> (省略)</p> <p>この項には、次の物品を含む。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) その他のポリエーテル：エポキシド、グリコールその他類似の物質から得た重合体で、重合鎖にエーテル官能基が存在することで特徴づけられる。これらは、エーテル官能基が重合鎖上の置換基となっている39.05 項のポリビニルエーテルと混同してはならない。このグループの中で最も重要なのは<u>ポリオキシエチレン</u>、ポリオキシプロピレン及びポリフェニレンオキシド(PPO) (より正確にはポリ(ジメチルフェニレン-オキシド)と呼ばれる。)である。これらの物品は、種々の用途があり、ポリフェニレンオキシドはポリアセタールと同様に工業用プラスチックとして使用され、ポリオキシプロピレンはポリウレタンフォームの中間体として使用する。</p> <p>(3), (4) (省略)</p> <p>(5) ポリエステル：これらポリマーの特徴は、重合鎖中にカルボキシエステル官能基が存在することであり、これらのポリマーは、例えば、多価アルコールとポリカルボン酸との縮合によつて得られる。したがつて、これらの重合体は、エステル基が重合鎖上の置換基である39.05 項のポリビニルエステル及び39.06 項のポリアクリル酸エステルとは区別される。ポリエステルには、次の物品を含む。</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) <u>ポリエチレンテレフタレート(PET)</u>：通常テレフタル酸をエチレンギリコールでエステル化した重合体又はジメチルテレフタレートとエチレンギリコールとの反応によつて得た重合体である。紡織用纖維としての非常に重要な用途のほか、例えば、包装用フィルム、記録用テープ、清涼飲料用ボトルに使用する。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>39.07 (d) その他のポリエステル：これらには、不飽和のもの及び飽和のものがある。不飽和ポリエステルは、十分なエチレン性不飽和を有するもので、エチレン性不飽和を含む単量体と容易に架橋し（又はすでに架橋している。）、熱硬化性樹脂を形成する。不飽和ポリエステルには、ポリアリルエステル（上記(b)参照）及び不飽和酸、例えば、マレイン酸又はフマール酸をもとしたその他のポリエステル（油を含まないアルキドを含む。）を含む。これらの物品は、通常、液状プレポリマーの形状で、主としてガラス繊維で補強した積層版及び鋳型用の透明な熱硬化性物品の製造に使用する。</p> <p>飽和ポリエステルには、テレフタル酸をもととした重合体、例えば、ポリ（ブチレンテレフタレート）及び油を含まない飽和させたアルキド樹脂を含む。これらは主として紡織用繊維の糸及びフィルムに使用する。</p> <p>重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてこの類の総説を参照すること。</p>	<p>(前葉より)</p> <p>39.07 (d) その他のポリエステル：これらには、不飽和のもの及び飽和のものがある。不飽和ポリエステルは、十分なエチレン性不飽和を有するもので、エチレン性不飽和を含む単量体と容易に架橋し（又はすでに架橋している。）、熱硬化性樹脂を形成する。不飽和ポリエステルには、ポリアリルエステル（上記(b)参照）及び不飽和酸、例えば、マレイン酸又はフマール酸をもとしたその他のポリエステル（油を含まないアルキドを含む。）を含む。これらの物品は、通常、液状プレポリマーの形状で、主としてガラス繊維で補強した積層版及び鋳型用の透明な熱硬化性物品の製造に使用する。</p> <p>飽和ポリエステルには、テレフタル酸をもととした重合体、例えば、ポリ（ブチレンテレフタレート）及び油を含まない飽和させたアルキド樹脂を含む。これらは主として紡織用繊維の糸及びフィルムに使用する。</p> <p>重合体（共重合体を含む。）、化学的に変性させた重合体及びポリマーブレンドの所属の決定についてこの類の総説を参照すること。</p>	
<p>39.10 シリコーン（一次製品に限る。）</p> <p>この項のシリコーンは、分子内に<u>二以上</u>のけい素 - 酸素 - けい素結合を含み、かつ、けい素原子に直接けい素 - 炭素の形で結合している有機の基を含む化学的に单一でない物品である。</p> <p>（省 略）</p> <p>(1) (省 略)</p> <p>(2) シリコーン樹脂は主として高温度での安定性が要求されるワニス、絶縁塗料又は防水塗料の製造に使用する。シリコーン樹脂は、また補強材料としてガラス繊維、アスベスト又は雲母を使用した積層品の調製、柔軟成型及び<u>電気部品の封入</u>に使用する。</p> <p>(3) (省 略)</p>	<p>39.10 シリコーン（一次製品に限る。）</p> <p>この項のシリコーンは、分子内に<u>一以上</u>のけい素 - 酸素 - けい素結合を含み、かつ、けい素原子に直接けい素 - 炭素の形で結合している有機の基を含む化学的に单一でない物品である。</p> <p>（省 略）</p> <p>(1) (省 略)</p> <p>(2) シリコーン樹脂は主として高温度での安定性が要求されるワニス、絶縁塗料又は防水塗料の製造に使用する。シリコーン樹脂は、また補強材料としてガラス繊維、アスベスト又は雲母を使用した積層品の調製、柔軟成型及び<u>電気用のカプセル封じ</u>に使用する。</p> <p>(3) (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>39.11 石油樹脂、クマロン - インデン樹脂、ポリテルペン、ポリ硫化物、ポリスルホン及びこの類の注3のその他の物品（一次製品に限るものとし、他の項に該当するものを除く。） (省略) この項には、次の物品を含む。 (1) (省略) (2) ポリ硫化物は、例えば、<u>ポリ(フェニレンスルフィド)</u>のように重合鎖中にモノスルフィド結合が存在することで特徴づけられる重合体である。ポリ硫化物のそれぞれの硫黄原子は両側とも炭素原子と結合しており、硫黄 - 硫黄結合を有する40類のチオプラスチックとは異なっている。ポリ硫化物は、塗料及び航空機部品、自動車部品、ポンプの羽根車等の成型製品に使用される。 (3), (4) (省略)</p>	<p>39.11 石油樹脂、クマロン - インデン樹脂、ポリテルペン、ポリ硫化物、ポリスルホン及びこの類の注3のその他の物品（一次製品に限るものとし、他の項に該当するものを除く。） (省略) この項には、次の物品を含む。 (1) (省略) (2) ポリ硫化物は、例えば、<u>ポリフェニレンスルフィド</u>のように重合鎖中にモノスルフィド結合が存在することで特徴づけられる重合体である。ポリ硫化物のそれぞれの硫黄原子は両側とも炭素原子と結合しており、硫黄 - 硫黄結合を有する40類のチオプラスチックとは異なっている。ポリ硫化物は、塗料及び航空機部品、自動車部品、ポンプの羽根車等の成型製品に使用される。 (3), (4) (省略)</p>	
<p>39.13 天然の重合体（例えば、アルギン酸）及び変性させた天然の重合体（例えば、硬化たんぱく質及び天然ゴムの化学的誘導体）（一次製品に限るものとし、他の項に該当するものを除く。） (省略) 次の物品は、この項のいくつかの主要な天然重合体又は変性させた天然重合体である。 (1) アルギン酸並びにその塩及びエステル <u>ポリ(ウロコ酸)</u>の一種であるアルギン酸は、褐藻類（phaeophytta）をアルカリ溶液中に浸せきして抽出される。この抽出物を無機酸で沈殿させるか又はこの抽出物を粗製アルギン酸カルシウムとした後無機酸で処理すると高純度のアルギン酸が得られる。 (省略)</p>	<p>39.13 天然の重合体（例えば、アルギン酸）及び変性させた天然の重合体（例えば、硬化たんぱく質及び天然ゴムの化学的誘導体）（一次製品に限るものとし、他の項に該当するものを除く。） (省略) 次の物品は、この項のいくつかの主要な天然重合体又は変性させた天然重合体である。 (1) アルギン酸並びにその塩及びエステル <u>ポリウロコ酸</u>の一種であるアルギン酸は、褐藻類（phaeophytta）をアルカリ溶液中に浸せきして抽出される。この抽出物を鉛酸で沈殿させるか又はこの抽出物を粗製アルギン酸カルシウムとした後鉛酸で処理すると高純度のアルギン酸が得られる。 (省略)</p>	

新	旧	備 考
<p>390.20 プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ（多泡性のもの並びに補強し、薄層で被覆し又は支持物を使用したもの及びこれらに類する方法により他の材料と組み合わせたものを除く。） (省略) - 塩化ビニルの重合体製のもの <u>3920.43 - - 可塑剤を全重量の6%以上含むもの</u> <u>3920.49 - - その他のもの</u> - アクリル重合体製のもの <u>3920.51 - - ポリ(メタクリル酸メチル)製のもの</u> (省略) - ポリカーボネート製、アルキド樹脂製、ポリアリルエステル製その他のポリエステル製のもの (省略) <u>3920.62 - - ポリ(エチレンテレフタレート)製のもの</u> (省略) - 他のプラスチック製のもの <u>3920.91 - - ポリ(ビニルブチラール)製のもの</u> (省略) 。 。 —</p> <p>号の解説 <u>3920.43 及び3920.49</u> これらの号の物品は、その可塑剤の含有量に基づいて区別される。この目的において、一次可塑剤と二次可塑剤の含有量は合計するものとする（この類の号注2参照）。 一次可塑剤は、揮発性の低い物質で、重合体に添加すると、一般的にその柔軟性を向上させる（例えば、フタル酸エステル、アジピン酸エステル、トリメリト酸エステル、リン酸エステル、セバシン酸エステル、アゼライン酸エステル）。 二次可塑剤は、伸展剤としても知られており、単独で可塑剤として使用することは少ない。一次可塑剤と配合すると、一次可塑剤の作用を変化又は強化する。二次可塑剤は、難燃剤（例えば、塩素化パラフィン）又は潤滑剤（例えば、エポキシ化大豆油、エポキシ化亜麻仁油）としても作用する。</p>	<p>390.20 プラスチック製のその他の板、シート、フィルム、はく及びストリップ（多泡性のもの並びに補強し、薄層で被覆し又は支持物を使用したもの及びこれらに類する方法により他の材料と組み合わせたものを除く。） (省略) - 塩化ビニルの重合体製のもの <u>3920.41 - - 硬質のもの</u> <u>3920.42 - - 軟質のもの</u> - アクリル重合体製のもの <u>3920.51 - - ポリメタクリル酸メチル製のもの</u> (省略) - ポリカーボネート製、アルキド樹脂製、ポリアリルエステル製その他のポリエステル製のもの (省略) <u>3920.62 - - ポリエチレンテレフタレート製のもの</u> (省略) - 他のプラスチック製のもの <u>3920.91 - - ポリビニルブチラール製のもの</u> (省略) (新設)</p>	

新	旧	備 考
<p>39.22 <u>プラスチック製の浴槽、シャワーバス、台所用流し、洗面台、ビデ、便器、便座、便器用の覆い、水洗用の水槽その他これらに類する衛生用品</u></p> <p><u>3922.10 - 浴槽、シャワーバス、台所用流し及び洗面台</u></p> <p>(省 略)</p> <p>(削 除)</p>	<p>39.22 <u>プラスチック製の浴槽、シャワーバス、洗面台、ビデ、便器、便座、便器用の覆い、水洗用の水槽その他これらに類する衛生用品</u></p> <p><u>3922.10 - 浴槽、シャワーバス及び洗面台</u></p> <p>(省 略)</p> <p>。</p> <p>。</p> <p><u>号の解説</u></p> <p><u>3922.90</u></p> <p><u>3922.90 号には、特に流し(例えば、台所や洗面所で使用するもの)を含む。</u></p>	
<p>39.26 その他のプラスチック製品及び第39.01 項から第39.14 項までの材料(プラスチックを除く。)から成る製品</p> <p>(省 略)</p> <p><u>3926.20 - 衣類及び衣類附属品(手袋、ミトン及びミットを含む。)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>この項には、他の項に該当するものを除き、プラスチック(この類の注1に規定する。)又はその他の39.01 項から第39.14 項までの材料の製品を含む。</p> <p>(省 略)</p>	<p>39.26 その他のプラスチック製品及び第39.01 項から第39.14 項までの材料(プラスチックを除く。)から成る製品</p> <p>(省 略)</p> <p><u>3926.20 - 衣類及び衣類附属品(手袋を含む。)</u></p> <p>(省 略)</p> <p>この項には、他の項に該当するものを除き、プラスチック(この類の注1に規定する。)の製品及び39.01 項から第39.14 項までの材料(プラスチックを含む。)の製品を含む。</p> <p>(省 略)</p>	